

【瀬谷区】令和7年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和7年2月4日 15時00分～16時30分
場 所	瀬谷区役所5階 大会議室
出席者	<p>【座長】川口広議員 【議員：2名】花上喜代志議員、久保和弘議員 【瀬谷区：36名】植木八千代区長、池上武史副区長、 　　木村洋福祉保健センター長、 　　長井真福祉保健センター担当部長、 　　富永裕之土木事務所長、 　　細川直樹災害対策担当部長（瀬谷消防署長） 　　ほか関係職員</p>
議題	令和7年度 瀬谷区編成予算案（個性ある区づくり推進費）
発言の要旨	<p><令和7年度 瀬谷区編成予算案></p> <p>【花上議員】GREEN×EXPO 2027まであと2年となり、いよいよ本格的に機運醸成を図っていく必要がある。区の立場でできることと、市の立場でできることができることがそれぞれあると思うが、瀬谷区役所として様々なアイデアを出して盛り上げていくうえで、具体的な取組の提案がある。瀬谷区には三ツ境駅と瀬谷駅があるが、駅の構内放送でGREEN×EXPO 2027のPRをしてはどうか。</p> <p>【植木区長】駅での広報としては、瀬谷駅では、GREEN×EXPO 2027の公式マスコットキャラクターであるトウンクトウンクが描かれた階段広告を行っています。階段広告は脱炭素・GREEN×EXPO局が実施しており、南北自由通路のポスター掲示は区で対応するなど、分担しながら進めています。開催までの期間、瀬谷駅と三ツ境駅でどのように目を引く広報を行っていくのか、局でも引き続き検討していると聞いています。可能であれば、瀬谷駅と三ツ境駅だけでなく、横浜駅で相鉄線に乗車するときに、GREEN×EXPO 2027の開催について知っていただけのような広報ができるのか、ということも局に提案しています。局で全て対応するのが難</p>

しいのであれば、できる範囲で区から働きかける必要があると思ってい
ます。瀬谷駅、三ツ境駅とは、GREEN×EXPO 2027 関係だけでなく、市政
に関するポスター掲出をしてもらうなど、個別に調整して実施してい
こともあります。

【花上議員】相鉄線を利用している方から、和田町駅の構内放送で GREEN
×EXPO 2027 について広報しているという話を聞いたため、瀬谷駅や三ツ
境駅でもできないかと思って提案した。局とも連携し、それぞれの立場
で GREEN×EXPO 2027 を盛り上げる工夫をしていただきたい。さらに、小
中学校から機運を盛り上げることも重要だと思っている。GREEN×EXPO
2027 が横浜、しかも瀬谷で行われるので、その趣旨などが分かれば、子
どもたちの関心もより高まってくると思う。小中学校で何ができるのか
を考えたときに、絵を描いたり作文を書いたりすることはまず思いつく
が、それ以外に学校で子どもたちに何か取り組んでもらうことはできな
いか。

【植木区長】区提案反映制度のなかで、こども青少年局や教育委員会事
務局も含めた全市的なプロジェクトを作れないか、ということを瀬谷区
から提案しています。先週まで市庁舎の 1 階で、18 区の中学生が描いた
絵画の展覧会をしていました。もともとは瀬谷区の中学校の皆様に描い
ていただこうと企画していましたが、ぜひ 18 区でということで取組が広
がりました。また、GREEN×EXPO 2027 の内容を小中学生にしっかりと伝
えていくための教材についても、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局と教育委員
会事務局で調整しながら作成していると聞いています。そのような教材
を学校で活用するほか、区でも節目ごとにイベントを計画しているの
で、その際に、GREEN×EXPO 2027 の認知度があまり伸びていない小中学生
や子育て世代に向けた周知を行えるよう取り組んでいきたいと思いま
す。

【花上議員】子どもたちに GREEN×EXPO 2027 の趣旨を理解してもらい、
関心を呼び起こすことで、具体的な行動に結びつけていくといふこと
は、非常に意義があると考えている。横浜市でアフリカ開発会議が行わ
れた時も、市立小学校がそれぞれ応援する国を決めて、絵を描いたりイ
ベントを実施したりしたこと也有った。自分が支部長を務めている世界
連邦運動協会のポスター・作文コンクールでも、非常に高い評価を受
ける作品が、横浜市内の小中学生から数多く寄せられた。学校から子ども

たちの機運を高めていく取組については、予算市会のなかでも積極的に呼びかけをしていくつもりだが、区としてできる取組も実施していってほしい。また、区内の事業所や各家庭も含めて、区民の皆様が花を植える活動を後押しするために、花の種の配布などがあれば良いと思う。瀬谷区での花植え活動の状況はどうか。現時点で何か取り組んでいることがあれば合わせて教えてほしい。

【富永土木事務所長】現在は、道路や公園、水辺の清掃美化活動を行っていただいている団体に花の苗をお渡しするという取組を、局の予算を活用して行っているところです。

【花上議員】区内のどこへ行っても、花が盛んに咲いているような景色を作り出してほしい。先程の話にもあったが、瀬谷駅や三ツ境駅に花を飾り、駅の利用者にきれいだなと思ってもらえるような機運の盛り上げ方も必要だと思う。三ツ境駅のホームに、茶華道協会が花を生けているのを見たことがあるが、そのような団体の協力を得て、駅に花を飾っていくという取組はどうか。

【植木区長】来年度の予算では、区民の方に、街路樹の空きますに花を植えていただき、親しんでいただく事業も予定しています。GREEN×EXPO 2027 の会場に向かう道では、瀬谷西高等学校の卒業生の皆様が、フラワーロードプロジェクトという花植え活動を行っていますが、そのような活動がもっと広がっていけばと考えています。

【花上議員】横浜瀬谷高等学校長が、瀬谷西高等学校にいらっしゃった頃から一生懸命に取り組んでいたプロジェクトなので、横浜瀬谷高等学校でも続けてほしいと思っているが、横浜瀬谷高等学校では何か具体的に進めていることはあるか。

【富永土木事務所長】現在実施している海軍道路のフラワーロードプロジェクトは、横浜瀬谷高等学校の生徒の皆様が主体となり、瀬谷西高等学校の卒業生や、地域の関連する自治会、周辺の事業所なども巻き込んで活動を継続していただいているところです。

【花上議員】先程の事業説明のなかで、瀬谷区は人口が増えているという話があったが、区内の人口の傾向を教えてほしい。

【松田総務課長】ここ数年、人口全体はほぼ横ばいですが、少しづつ減少してきているという状況です。ただ、転入者が増加しており、令和2年から社会増という状況です。最近公表された令和6年の数字も、同じ

く増加となっています。

【花上議員】これから瀬谷区は人口が増えてくるのではないかと感じている。人口増加への対応も今後考えていく必要がある。次に、資源循環局のふれあい収集について。非常に助かっているという一人暮らしの高齢者の声を聞くが、ふれあい収集は増えてきているのか、現状を教えてほしい。

【田嶋資源化推進担当課長】1月現在で、505世帯を対象に収集を行っています。12月は511世帯でしたので、月によって数字にはばらつきはありますが、トータルで見ると少しずつ増加傾向にあると感じています。

【花上議員】非常に意義のある事業だと思うので、これから申し込みがさらに増えてくると思うが、しっかり対応してもらえるようお願いしたい。ふれあい収集については、何か課題や問題はあるか。

【田嶋資源化推進担当課長】現在は特に問題等はありません。

【花上議員】次に、区職員が仕事に取り組む姿勢について質問したい。毎年、予算に沿って各部署が事業を進めていくが、前例踏襲の傾向があることや、ワンパターン化していることを問題視する声もある。このような点を踏まえ、何か考えがあれば聞かせてほしい。

【植木区長】毎年実施しなければならない基礎的な業務もありますが、特にデジタル化が進んでいるなかで、事業の手法は今までよいのか、また、区民の皆様から何が求められているのかというのを、毎年改めて考えるよう職員に伝えています。6月の区づくり推進横浜市会議員会議でご報告した区の運営方針についても、瀬谷区では12月から1月にかけて、係ごとに来年度の方向性を話し合いながら決めていくという形をとっています。前年度に実施したことをどのように変えていくのかというのは悩む部分でもありますが、瀬谷区には、前例踏襲を前提としている職員はいないと思っています。

【花上議員】世の中の動きが非常にスピードアップしていて、どんどん変化している。ＩＴをはじめ、新しい技術が次々に生み出されていく中、世の中の変化に対応するための取組については、民間企業のみならず、行政としてもしっかりと考えていくことが重要だと考える。予期しないことが次々と起きて、それが犯罪に結びつくことや、区民の皆様が被害に遭うということがあってはならない。行政として目配りや気配りを不斷に心掛けていく必要があるが、この点についてはどう考えるか。

【植木区長】時代が変わり、区民の皆様が求めるものも変わってきているということは、日々窓口等で対応している職員が一番感じていることだと思います。今、区民の皆様が何を求めているのか、また、どのようなやり方で進めるのが効率的で、かつ区民の方に寄り添った対応になるのかということを職員としっかり話し合いながら、区としても引き続き取り組んでいきたいと考えています。

【花上議員】土木事務所が所管する公園について、様々な要望が私たちに寄せられることがある。来年度から公園が禁煙になるということだが、準備状況はどうか。

【富永土木事務所長】区局をあげて準備を進めているところです。まずは周知が重要なので18区統一のステッカーなどを活用した広報に力を入れていこうという段階です。現在は局が方向性を決定して準備をしています。4月に向けて、現場への周知やステッカーの貼り出しなどは土木事務所で進めていこうと考えています。

【花上議員】ぜひしっかりと対応してほしい。

【瀬戸福祉保健課長】公園の禁煙化については、受動喫煙防止という観点で、健康づくりにも関わってきます。より瀬谷区の皆様に周知を進めるため、局の取組に加えて、現在、土木事務所と福祉保健課で協力しながら、公園禁煙化の周知を図る動画を作成しているところです。3月上旬の完成を目指して作成していますので、様々な場所で動画を見ていただけたよう、周知に励んでいきたいと思います。

【花上議員】区民の方から私たちに、土木事務所に関係するご意見が寄せられることがある。例えば、公園の木を切ってほしいという要望や、歩道に木の根が出ていて転んでしまったなどの声があれば、その都度土木事務所にお願いしているが、瀬谷土木事務所は、すぐに実行に移してくれており、非常によく対応してくれていると思う。様々な要望が寄せられる中、土木事務所としてどのように向き合っているのか教えてほしい。

【富永土木事務所長】組織的な対応に心がけています。陳情については、3営業日以内に現場を確認して対応の方向性を決めよう、ということを日頃から事務所内で話しています。すぐに現場に反映されるかどうかは別ですが、どのように対応するかは初動が重要なので、引き続き意識していきたいと思います。

【花上議員】次に、消防署長にお聞きしたい。区内で朝から晩まで救急車が走り回っていて、消防署や救急隊の方は大変だという声をよく聞く。今の救急対応については、搬送先の病院も含めてきちんと対処できているのか、何か問題があるのかどうか聞かせてほしい。

【細川消防署長】市全体の課題として、救急件数が非常に多くなっています。一時期は、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症により、搬送先の病院が見つかりにくい、選定ができないという状況もありました。そのため、救急隊を一時的に増隊させたり、病院と情報交換をし、どの程度の患者であれば受け入れてもらえるかという話をしたりしています。今のところ大きな問題はありませんが、増えていく救急要請に対していくかに対応していくかを考えていく必要があります。普段からご自身の体調を管理していただいたり、けがをしないよう工夫していただいたりという「あんしん救急」という取組なども含めて進めているところです。

【花上議員】搬送先の病院を探してもなかなか見つからず、患者のご家族が焦っている様子を実際に見たことがあるが、病院側も専門の医師が不在にしていれば受け入れることも難しいだろうし、現場では様々な苦労があるのだと思う。大きな問題が起きないように、引き続きしっかりと取組を進めてほしい。区民意識調査の結果などを見ると、防災問題に関する関心が高く、地震や風水害に対する不安が非常に大きいことを実感する。15か所の地域防災拠点では、防災備蓄品などの備えがあるが、それらはきちんと整えられているのか。自治会町内会からの様々な声もあると思うが、現状認識はどうか。

【松田総務課長】地域防災拠点は、自治会町内会の皆様をはじめとした運営委員の皆様に運営していただいている。食料や機材などの備蓄品がありますが、食料については賞味期限もありますので、毎年の訓練のなかで、地域の皆様と一緒に点検をしています。備蓄の管理という点では、しっかりとできていると認識しています。

【花上議員】備蓄品などについて、不足があるという話は聞いているか。

【松田総務課長】皆様のご要望のレベルによっては、十分対応できていると言えない部分もあるかもしれません、区として考えている備蓄の内容についてはきちんと対応できているという状況です。

【植木区長】備蓄品も時代によって変わってきてていると思います。例えば、液体ミルクの備蓄が始まったり、能登半島地震によって、トイレの備えの必要性が再認識されたり、また、地域によって違ってくる部分もあります。備蓄庫が狭小な地域防災拠点では、今年度、1か所で倉庫を増築しています。実際に何を備えたらよいのかという点についても、時代に合わせて日々見直しが必要になると思っています。

【花上議員】防災問題について関心が非常に高まっているなかで、最近はペット同行避難や同室避難という言葉も聞く。ペットの防災に関する瀬谷区獣医師会との連携状況を教えてほしい。

【坂井生活衛生課長】ペット防災については、動物愛護センターが中心となり、各地域防災拠点にお願いすることと、飼い主の皆様に啓発することについて、18区同じレベルで進められるように取り組んでおり、その内容については市獣医師会、区獣医師会とも共有をしています。また、区獣医師会には、飼い主の方に見ていただきたいチラシ等の各動物病院への掲示や配架にもご協力いただいているところです。

【花上議員】最近、瀬谷区内で外国人の方を見かける機会が増えた。様々な国の方がいるので、言語や文化についての違いに戸惑うケースも多いと思うが、外国人が区役所や公共施設にいらした場合に、どのように対応しているか。工夫しているところがあれば教えてもらいたい。

【政木地域振興課長】令和6年11月現在の瀬谷区の外国人人口が2,544人となっており、区全体の2パーセント程度の方は外国の方という状況です。多い順では、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシアとなっています。令和5年度に地域振興課で実施した外国人意識調査では、生活情報に関するサポートを求めている方が多いということが分かりました。また、困っていることや心配なこととして、公共サービスの制度や手続きや、外国語の情報が少ないということが挙げられましたので、現在、多言語の生活情報リーフレットを作成しています。今年度はやさしい日本語、英語、ベトナム語、インドネシア語のリーフレットを作成し、来年度は中国語版を作成する予定です。ご自身の言語のリーフレットがあることで安心していただけると思いますし、困ったときの問合せ先を二次元コードなどで掲載しているので、そちらにうまく結びつけていきたいと思っています。これからも外国人は増えるでしょうし、GREEN × EXPO 2027に伴って来街者が多くなることも想定されますので、様々な

団体の意見を聞きながら、支援などの取組を今後も進めていきたいと考えています。

【松田総務課長】防災の関係では、外国人向けの防災講座を1月下旬に実施しました。昨年は中国語を使う方がいらっしゃいましたが、今回はタイ出身の方が数名お見えになりました。防災や避難について外国人の方にどのように伝えればよいか、地域の皆様も悩んでいるところですが、今回は中学校の地域防災拠点を運営されている方も参加されましたので、地域の中での繋がりも作れたのではないかと思っています。

【花上議員】今は多言語通訳機という便利な機械もある。テレビで見たことがあるが、その場で日本語から外国語に通訳ができるようなスマートフォンの機能もあるようだ。区役所ではこのようなツールを活用しているか。

【吉原区政推進課長】通訳端末については、瀬谷区では9台保有しています。

【久保議員】安全・安心という観点から、防犯について伺いたい。市民局の来年度予算で、防犯カメラや防犯灯の設置に関する補助を拡大すると聞いている。昨年10月の青葉区での強盗事件を受けての対応ということだが、闇バイトなども世間で話題になり、防犯に関するニーズが高いということは私たちも実感している。瀬谷区でも区民の皆様からの声や要望はあるか。

【政木地域振興課長】防犯灯に関しては、今年度は設置基準を満たしているものについて全件、合計で11件の設置をしています。令和5年度は予算の関係で設置できなかつたものがありますが、そのうち2件は今年度の申請をいたわいていません。来年度は市民局の予算が増え、過去に設置ができなかつたものについても対応ができると聞いていますので、幅広く周知し、防犯灯の設置数を増やしていきたいと考えています。

【久保議員】今年度要望があったものについては全て対応するということを市長も言っていたが、過去に申請があったのに設置ができなかつた分についても、個別に声をかけるという方法があると思う。安心・安全で暮らしやすい瀬谷区のまちづくりを後押ししてほしい。先程も花上議員から話があったが、防災のことについて。来年度の総務局の予算で、地域防災拠点の備蓄品を拡充していくと聞いている。例えば備蓄品に関する予算は約2億円から6億円と、約3倍になると。地域防災拠点で衛

生品やテントなどの備蓄品を拡充していくという取組に加え、民間事業者と連携しながら、災害時には事業者の在庫を備蓄品として活用する流通備蓄も進めると聞いている。今まで、倉庫の増築について要望してきたが、先程、実際に倉庫を増築した拠点があるという話だった。

【松田総務課長】相沢小学校で増築するということを以前お話ししましたが、実際に建ち、運用を始めているところです。

【久保議員】相沢小学校ということで承知した。備蓄品の種類や数が増えていく中で、収納するスペースを確保できるのかという点が気がかりである。自治会の皆様や地域防災拠点を運営する方々が、備蓄品は増えたが置く場所が無い、と困らないようにしたいが、今後はどのような対応をしていくのか。

【松田総務課長】来年度の総務局の予算では、確かに備蓄品の充実についての内容が盛り込まれています。時代に沿って備蓄品を見直していく過程で、限られたスペースの中で何を残していくか。また、逆にどのようなものの優先順位が下がってくるのか、方面別の備蓄庫に移せるのかということを考え、様々な工夫をしながら倉庫に収める必要があります。引き続き総務局と連携をとりながら検討していきたいと考えています。

【久保議員】しっかりと対応していただくようお願いしたい。次に、先程、花上議員からも質問があったペットの防災について聞きたい。医療局では、地域防災拠点への一時飼育場所の設定を推進するとともに、や同室避難場所についてのモデル事業を実施すると聞いている。ペットを飼っている方からの要望が多い中、現場では様々な対応が必要だと思うが、一時飼育場所の開設キットの配布も含めて現状を教えてほしい。

【坂井生活衛生課長】各地域防災拠点への支援として、一時飼育場所開設スターターキットの配布のほか、生活衛生課が各拠点へ直接伺って、マニュアル作成の検討に関する助言や、実地訓練のお手伝いも行っています。現在、15拠点中8拠点でスターターキットを備蓄倉庫に保管していただいており、5拠点ではマニュアルも策定していただいている。他の拠点でも、それぞれの状況に応じて、今後もきめ細かく支援していきたいと考えています。

【久保議員】運営委員の皆様の要望も多いと思うので、引き続き対応してほしい。次に「GREEN×EXPO 2027・瀬谷プロモーション事業」の「み

んなで花いっぱい瀬谷区事業」という新規事業について。以前の区づくり推進横浜市会議員会議で、環状4号線などの道路に雑草が多いため、季節によって花などの植物を植えてはどうかという話をさせてもらった。先程も話題になった旧瀬谷西高等学校の周辺においては、フラークロードプロジェクトに取り組んでいただいているが、相鉄線の南側、下瀬谷方面の現状と、今後どのように取り組んでいくのか教えてほしい。

【氏家土木事務所副所長】環状4号線の相鉄線より南側のエリアに関しては、本年度中に新規事業に向けた試行として、橋戸北自治会の皆様のご協力をいただきながら、道路の植栽ますを活用して花植えを行おうということで、昨年12月に説明会を実施したところです。1月中旬まで、この試行に参加いただける方を募集した結果、個人・団体含め10組の申込をいただきました。3月頃から実際に花を植える活動ができるよう、現在は使用する植栽ますの調査や選定、また、安全に実施するためのルール作りなどの準備を進めているところです。植える花については土木事務所から配布する予定ですが、参加いただく方ご自身が用意したものも使用できるという方向で考えています。

【久保議員】前に進んでいるということを聞いて非常に嬉しく思う。10組参加いただけるということも喜ばしいことだが、参加者には様々な負担、例えば、水やりの水をどこで汲めばいいか悩むケースなどもあると思うので、土木事務所で最大限サポートしてもらい、花でいっぱいの美しい瀬谷区になるよう、着実に進めてほしい。次に、低所得者を対象とする3万円の物価高支援給付金の申請が、2月12日から始まるといっている。申請窓口ではどのように対応するのか確認したい。

【松田総務課長】瀬谷区役所の4階に窓口を設置し、物価高支援給付金のご相談、手続きに対応する予定です。

【久保議員】やはり生活にお困りの方から、物価高に関する声は多く寄せられている。家賃の支払に悩んでいる方に対しては建築局を紹介することなどもあるが、様々な物価高対策の取組を一つひとつ大切に対応してほしい。また、昨年から瀬谷区と鶴見区でお悔やみ窓口がモデル実施されており、非常に好評であると聞いている。現状を詳しく確認させてほしい。

【松田総務課長】お悔やみ窓口の運営状況については、1日4つの予約枠がありますが、概ね3～5割程度の予約状況となっており、4つ全て

の予約枠が埋まつたことも数日ありました。利用された方からは、ほぼ100%に近い方から「利用してよかったです」と回答をいただきいており、例えば「何をすればよいか分からずに混乱していたが、手続きなどを寄り添つて対応してもらって安心できた」という好意的なご意見もいただいています。

【久保議員】来年度から18区に展開するということで、瀬谷区と鶴見区で実施したモデルが広がることになるが、何か課題はあったか。

【松田総務課長】お悔やみ窓口を利用される方には5営業日前までに予約いただき、こちらで当日までに、亡くなった方の状況や必要な手続きを調査するなどの準備を行います。改善に関するご意見として、5日間の準備期間は長いのではないか、もっと早く窓口を利用できないかという声があります。また、区役所の所管ではないので難しい部分ではありますが、年金事務所で所管している年金に関する手続きも、一緒にできるとありがたいというご意見もいただいている。

【久保議員】他都市では、横浜市と同じスキームで、予約が4日前までというところもある。市民局の窓口サービス課が中心になるかもしれないが、準備期間を短縮できるように区局で検討してほしい。また、国の「おくやみコーナー設置ガイドライン」では、おくやみコーナーのサービスのレベルが示されており、瀬谷区では、「申請書作成補助」に当たるレベル3くらいのサービスを提供している。様々な段階を経ていかないと実現しないことではあるが、最終的には一つの窓口で完結する、ワンストップの窓口を目指にしてほしいと思う。最後に、大きな意味では高齢者支援という側面ももつ、地域交通の話について聞きたい。来年度、都市整備局で地域交通に力を入れていくと聞いており、地域交通の支援を行う対象地域の中に、瀬谷区の東野地域があった。かねてから地域の声も聞き、自分も議会で質問するなどしてきたが、実態として、高齢化が進んでおり、三ツ境駅からも瀬谷駅からも遠い。今回、対象地域として名前が挙がったわけだが、区としてはどのようにサポートしていくのか確認したい。

【吉原区政推進課長】地域交通については、来年度からプッシュ型の支援を行っていく実施地区を局で選定しています。先日発表された予算概要の中で、東野地区が対象として記載されていました。東野地区は、これまでも地域交通の導入に向けて動いた経過があるので、そのような経過を局にも伝えながら、局とともに地域に入り、連携しながら進めていきたいと考

えています。

【久保議員】地域交通については、東野地区の長年の要望でもあった。これまで苦労してきたという経過があるので、局で行うプッシュ型の支援で交通空白地を半減するという取組に期待したい。とはいえ、バス路線は複数の自治会の地域を跨いで運行するものなので、どこの自治会が中心となって引っ張っていくかという課題もある。東野地区の周りの地区とも連携するのか、それとも東野地区の中で完結するのかということも含めて区のサポートが必要だと考える。局で設置したタスクフォースを中心に検討を進めていくようだが、区としてもしっかりと支援を行ってほしい。

【川口議員】昨年12月に、海軍道路からバイパス道路に交通が切り替わった。瀬谷区内、特に上瀬谷周辺が目に見えて変化していく中で、地域住民の皆様からご意見等はあったか。もしあれば、増えているかどうか、また、どのような内容のご意見が多いかを聞きたい。

【植木区長】自治会の役員の皆様と話をすると、やっと工事が進んできたというお声や、工事のフェンスにより圧迫感があり、子どもに影響があるのではないかというご意見、また、交通量が増えてきているのではないかというお話も耳にしますが、現時点では、渋滞に関する直接的なご意見は寄せられていません。開発が進むにつれて、工事の状況に関する広聴等は増えてきています。

【吉原区政推進課長】上瀬谷関係の広聴は、傾向としては多くなっています。ただ、環状4号線に関するご意見は多くなく、GREEN×EXPO 2027の後のテーマパーク等の整備について、例えば音楽フェスが開催できる環境にしてほしいですとか、有名ゲームコンテンツを活用した施設を作つてほしいですとか、そういうご意見が多く寄せられているというのが現状です。交通についても、LRTや路面電車の活用、または市営地下鉄グリーンラインの延伸に関するお声などをいただいています。

【川口議員】テーマパークの概要や新たな交通について、ある程度は情報が公表されてきているが、市民の皆様からのご意見に対して具体的に回答しているのか。

【吉原区政推進課長】区としても、上瀬谷のまちづくりにしっかりと携わつていこうという姿勢で、皆様からいただいたご意見は供覧していますが、回答を要望されたものについては、基本的には局から回答している状況です。

【川口議員】目に見えて町が変わっていく中で、瀬谷区にお住まいの方、特に北側にお住まいの方はその変化を肌で感じているところだと思う。例えば、環状4号線と八王子街道が交わる目黒交番前の交差点では、中央線が日々変わっていると言っても過言ではないほど、積極的に工事を進めている。今までとは異なる、慣れないことを区民の皆様に強いてしまうこともあると思うので、ご意見等があった場合は丁寧に対応してほしい。次に、資料7ページの動物愛護普及啓発事業について。一見、犬の飼い方に関する啓発や講座を重点的に実施している印象がある。猫を飼っている複数の方からもそのような意見を聞いた。犬以外のペットへの対応や、区としての向き合い方を教えてほしい。

【坂井生活衛生課長】確かに、犬に関する事業が中心となっているように見えるかと思います。これは、区民の方から、犬の散歩中のふん尿の放置や、犬の鳴き声についてのご相談を多く受けているため、犬の飼い主さん向けのマナー啓発や飼い方教室を実施しているものです。しかし、市全体では、動物愛護センターが2月22日に開催する猫の飼い方セミナーのように、犬だけでなく猫の飼い主さん向けの講座も開催しています。猫も犬と同程度又はそれ以上の数が飼われている状況だと思いますので、今後は、猫の飼い主さんにも伝わるように、市で開催する事業の広報等に力を入れていきたいと思います。

【川口議員】広報の方法を工夫するだけでも、区民の方が受ける印象は変わるとと思うので、まずは見せ方から検討してほしいと思う。資料13ページの「せやっこわくわくワーク」や、先程配布された冊子についても言えるが、最近、瀬谷区の広報の質が上がってきているように感じる。見やすく格好よく、おしゃれになってきていると思う。広報物は、出来上がった後にどこでどのように配布するかということが非常に重要だが、様々な紙の広報物について、配り方を工夫しているところがあれば教えてほしい。

【吉原区政推進課長】広報物については、区連会でご説明したものは自治会町内会にお配りしたり、公共施設に配架を依頼したりすることもあります。また、事業の性質に合わせて、関係する団体にも配布をお願いする場合もあります。瀬谷区の場合、チラシだけでなく、広報よこはま区版のPR効果が非常に高いと考えていますので、様々な手法や配布方法を組み合わせながら、必要な方に情報が行き届くように広報していきたいと思います。

【川口議員】紙媒体とSNS等を活用し、相乗効果を狙うという考え方もあるが、最近は手にとりたくなるようなデザインの広報物が増えてきたので、より多くの方に見ていただけるような工夫をしてもらえるとありがたい。次に、図書館について。教育委員会事務局が、大型の図書館を整備する方向で予算組みしている。同時に、18区の各図書館を順次、リノベーションしていくということも予算概要に記載されていた。瀬谷図書館についても、教育委員会事務局に改善の要望等を伝えているのか聞きたい。

【室谷読書活動推進担当課長】毎月1回図書館長会があり、中央図書館長含めディスカッションをしています。瀬谷図書館についての課題としては、老朽化が進んでいるということと、スペースが限られているため、学生が勉強するスペースなどがないことです。隣の大和市には文化創造拠点シリウスがありますので、そちらに行っている方もいらっしゃるようです。また、瀬谷図書館は駅から遠いので、通勤途中の社会人の方にはご利用いただきにくいという状況もあります。現状については逐次局に伝えており、新たな図書館整備の方向性として、一部の図書館についてはアクセスや地域バランスを考慮して中規模化も進めていくということなので、今後も要望は伝えていきたいと考えています。

【川口議員】今までよりも、局への要望が通りやすい状況になりつつあると思うので、問題点や課題を整理し、要望していってもらえるとありがたい。次に、22ページの「ターゲティング広告事業」について。この事業は今までやってきた事業だとは思うが、政策経営局が公開している移住サイトでやっていることと、区の事業でやっていることの目的の違い等があれば聞きたい。

【吉原区政推進課長】政策経営局では、中期計画の基本戦略である「子育てしたいまち 次世代をともに育むまち ヨコハマ」に向けた取組の一つとして、令和6年8月に居住促進プロモーションサイトを公開し、全市的な観点からPRを進めています。一方、瀬谷区のターゲティング広告事業については、GREEN×EXPO 2027を控えている瀬谷区の良好な環境や、暮らしやすさを知っていただくために実施しているものです。瀬谷区の流入人口の増加や定住促進を目指して事業を進めているところですので、今後、より効果的にプロモーションができるよう、全市的な居住促進の取組とも連携しながら進めていきたいと考えています。

【川口議員】政策経営局では、これから引っ越しをしようと思っている

方々が最初に頼るであろう不動産会社とも連携しており、具体的な事業者名も聞いている。区の事業においても、不動産会社と連携したり情報交換をしたりしているか。

【吉原区政推進課長】現在は、瀬谷区の良好な環境や住みやすさを PR するため、プロモーション動画を作成しているところです。来年度以降、動画の活用を図るなかで、不動産会社等ともコミュニケーションをとっていきたいと考えています。

【植木区長】住宅供給の事業者とは、数年前に連携して事業を実施しました。最近では紙の広報は少なくなってきたので、瀬谷区の良さを知つてもらうために、まずは本年度中に目を引く動画を作成しようとしているところです。来年度以降、市のプロモーションとも連携しながら、動画による広報を進めていくという順番で考えています。

【川口議員】事業者との連携という点では、実際に不動産会社に来ていたいだいた方、瀬谷区に住んでみようと思っている方に今回作成する動画を見てもらうことができれば、最後の一押しの材料にもなり得ると思う。そのような方法も含めて、不動産会社や住宅供給の会社と連携をとりながら、より効果が出る取組を検討してほしい。次に「瀬谷の魅力オープンガーデン事業」について、安全性は確保されているのかどうか聞きたい。

【吉原区政推進課長】参加する皆様の安全のため、事前の説明会での注意喚起や、来場者向けパンフレットへのマナーに関するお願いの記載、イベント当日の職員による会場の巡回等を行っています。また、防犯の観点から、警察署には事前にイベント状況を共有しています。令和7年度のオープンガーデンの参加会場は、昨年から8か所増え、63会場となる予定です。参加を辞退された会場もありましたが、高齢化による辞退となっており、防犯を理由に参加をやめたケースはこれまでありません。引き続き、会場を提供してくださる皆様にも、いらっしゃるお客様にも安心して見学いただけるよう、しっかり進めていきたいと思います。

【川口議員】毎年このイベントの安全性について質問し、瀬谷区の地域の皆様の防犯意識の高さを実感している一方で、世の中の流れを考えると、個人宅の庭を見学することのリスクは年々高まっていると思う。63か所が安心して会場を開放し、参加者の方にも気持ちよく見学していただけるよう、引き続き警察とも強く連携してほしい。次に23ページの「イルミネーション事業」について。非常に評判のよい事業だと思っており、防犯にも

	<p>繋がるなど、副次的なメリットを感じている区民の方もいらっしゃる。当初よりもイベントの実施期間を伸ばし、11月から1月に行っているところだが、もっと長くすることはできないか。予算の問題もあるが、期間延長に関する要望を受けた場合は、どのように対応しているか。</p> <p>【吉原区政推進課長】広聴においても、イルミネーションが瀬谷区の冬の風物詩になっていて素晴らしいという声をいただいている。今年度で6回目となり、まさに冬の風物詩として定着してきているところもありますし、LEDの設置や取外しには街路樹の葉の付き具合や生育状況も考慮する必要がありますので、基本的には同じ時期に実施したいと考えています。ただ、今日いただいたご意見を踏まえ、改めて検討したいと思います。</p> <p>【川口議員】にぎわいスポーツ文化局に、ヨルノヨを実施している「創造的イルミネーション事業」がある。各区とも連携していると聞いたが、瀬谷区のイルミネーション事業は局の事業と連携しているか。</p> <p>【植木区長】具体的な連携はとつていませんが、広報よこはまでヨルノヨをPRする時に、瀬谷区のイルミネーション事業についても広報を行うなど工夫しています。</p> <p>【川口議員】鶴見区では「ヨルノヨツルミ」というイベントが実施されたと聞いている。局と連携して実施することで予算が配当される可能性もあると思うので、6年目を迎えて非常に認知されてきた、人気のある事業を続けられるよう、そして少しでも実施期間が長くなるよう、局と連携して進めてほしい。</p> <p>【久保議員】三ツ境駅のバリアフリー化工事について、入札が不調になったと聞いた。着実に進められるよう、土木事務所と道路局、財政局で力を合わせて取り組んでほしい。</p>
備 考	